

茅ヶ崎市中海岸地区住宅地でのカメラトラップによる野生動物定点調査

Fixed point observation of wild animals by camera trap in residential district of Nakakaigan area, Chigasaki City, kanagawa Prefecture

馬谷原武之¹⁾

Takeyuki MAYAHARA

はじめに

近年, 都市部や都市近郊域の住宅地におけるタヌキ (*Nyctereutes procyonoides*) やハクビシン (*Paguma larvata*) などの野生動物の出没について報告される事が増えており, 神奈川県においても広範囲に渡り生息状況が報告されている(中村ほか 1989; 中村 1990, 1991; 中村・石原 1992; 松本・浜口 1990; 園田・倉本 2001; 板橋ほか 2010). これらの野生動物は茅ヶ崎市においても, 市内全域で確認されている(岸 1994, 2003).

野生動物の調査を行う方法として, 自動撮影カメラを用いたカメラトラップによる手法があり, 野生動物の調査時によく利用されている(藤吉ほか 2007; 前迫 2010; など). この手法は動物を直接捕獲せずに定点で連続して調査を行えるという利点がある.

今回, 神奈川県茅ヶ崎市中海岸地区住宅地での野生動物の生息状況を確認するため, 中海岸地区の住宅地域に位置する茅ヶ崎市文化資料館(中海岸 2-2-18)の敷地内にカメラトラップを1ヶ所設置し, 野生動物の定点調査を行った. 中海岸地区は茅ヶ崎市南部側に位置し, 調査地周辺は住宅地に囲まれ, 近隣には公園などの施設も存在する(図 1, 2).

方法

調査には, 赤外線センサーカメラ(別称: 自動撮影カメラ, トレイルカメラ) Tasco 3MP Trail Camera をもちいた. 設置場所は文化資料館敷地内, 裏庭の野生動物の通り道であろう場所に1地点設けた. 本機器のセンサー反応から撮影までのタイムラグ

は約 1sec, 撮影後のインターバルは 30sec, 撮影範囲は 45ft (約 13. 7 m), 角度 45° である.

地面を歩く中型動物を対象とし, 現地でのカメラの設置位置は高さ約 70cm, 傾きは約 15° に設定した(写真 1).

調査期間は 2011. 5/18-2012. 2/12 である. 設置地点敷地内の整備の関係により, 2011. 9/11 に設置地点の変更を行った.

設置地点 A 2011. 5/18-2011. 9/11 (写真 2)

設置地点 B 2011. 9/11-2012. 2/12 (写真 3, 4)
設置地点 A, B 間は数メートルしか離れておらず, 共に野生動物が通る事が出来る空間がある場所に設置した. 写真回収は約一週間毎に行った.

撮影は赤外線センサーにより熱の変化に反応して自動的に行われ, 夜間はフラッシュにより撮影される.



写真 1 トラップカメラ外見

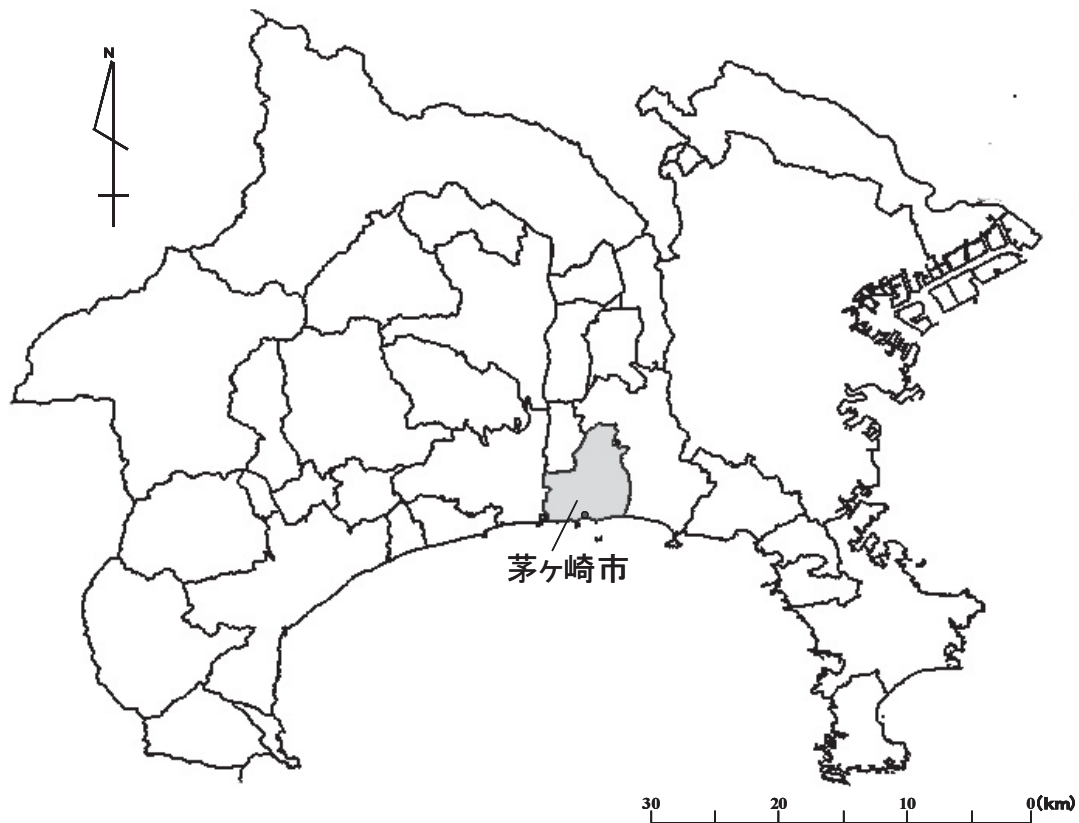


図 1 神奈川県茅ヶ崎市位置



図 2 トラップカメラ設置地点（中海岸 2-2-18）



写真 2 設置地点 A ~9/11



写真 3 設置地点 B 9/11~



写真 4 設置地点 B 9/11~



写真 5 イエネコ



写真 6 イエネコ



写真 7 イエネコ



写真 8 キジバト



写真 9 ハシボソガラス



写真 10 ハクビシン



写真 11 ハクビシン



写真 12 ハクビシン



写真 13 ハクビシン



写真 14 ハクビシン



写真 15 ハクビシン



写真 16 ハクビシン



写真 17 ホンドタヌキ

表 1 カメラトラップにより確認された動物種と確認数 (2011. 9/11 に設置地点を変更)

	ハクビシン	ホンダタヌキ	イエネコ	キジバト	カラス		日数(日)
2011.5.18-5.31	0	0	1	0	17		14
2011.6.1-6.30	0	0	0	2	7		30
2011.7.1-7.31	1	0	0	0	15		31
2011.8.1-8.31	0	0	3	1	16		31
2011.9.1-9.10	0	0	2	0	2		10
2011.9.11-9.31	1	0	7	0	0		20
2011.10.1-10.31	3	0	13	2	0		31
2011.11.1-11.30	0	0	15	1	0		30
2011.12.1-12.31	1	0	19	9	2		31
2012.1.1-1.31	0	0	24	4	2		31
2012.2.1-2.12	0	1	12	1	0		12
計	6	1	96	20	61	計	271

結果・考察

確認された動物種はハクビシン (*Paguma larvata*) (写真 10-16), ホンダタヌキ (*Nyctereutes procyonoides viverrinus*) (写真 17), イエネコ (*Felis silvestris catus*) (写真 5-7), キジバト (*Streptopelia orientalis*) (写真 8), ハシボソガラス (*Corvus corone*) (写真 9), ハシブトガラス (*Corvus macrorhynchos*) であった。

月別の確認種数を表 1 に, 全期間での時間別の確認数を図 3 にまとめた。

ハクビシンは 2011. 7/8, 9/27, 10/11, 10/17, 10/17, 12/22, 計 6 回確認された。撮影回数は少ないものの, ハクビシンは夏季, 冬季と期間を通じて行動している事が確認され, いずれも夜間から早朝にかけて活動していた。ホンダタヌキは 2012. 2/8 夜間に後ろ姿のみ 1 回 (写真 17) 確認された。今回確認されたのはこの 1 回のみだったが, この地点では過去 2010. 10/20 の 16 時 40 分頃に目視によりホンダタヌキが確認されている (写真 18)。

キジバト, カラスは調査期間全域に渡ってみられ日中のみ確認された。

イエネコは複数個体が期間に渡って確認された。活動時間は主に夕方から夜にかけてと朝方に多いが, 日中も活動をしており, 昼夜問わず活動している事が確認された。また, 2011. 9/11 の設置地点の変更以後から急に確認数が増えている。これらの地点は数メートルしか離れていないが, カメラトラップ設置地点の獣道の利用頻度が大きく影響して

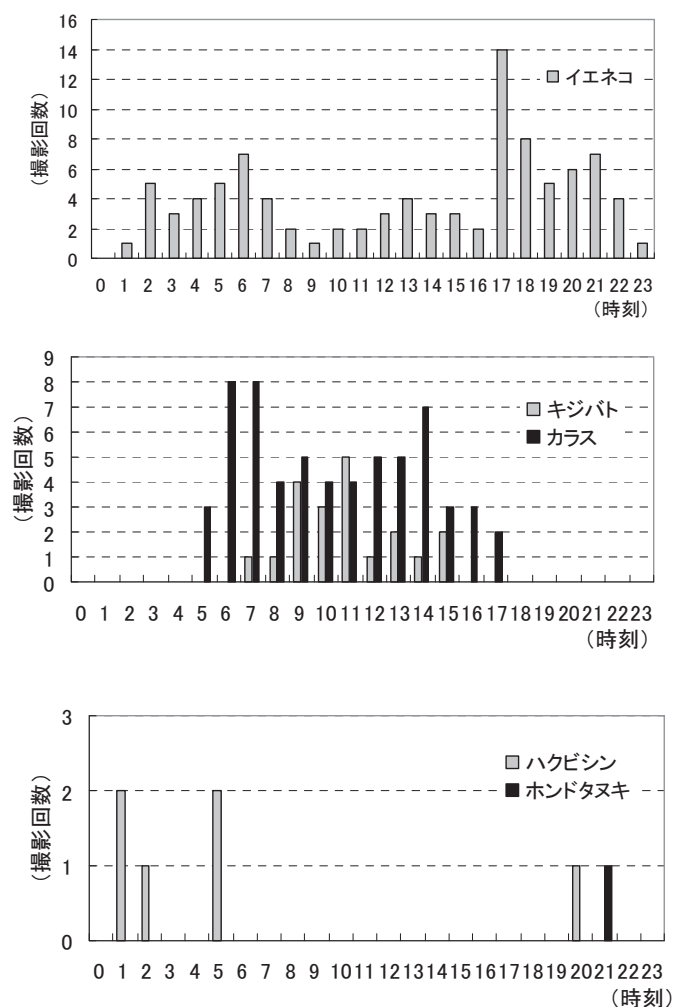


図 3 全期間での時間別確認数

いる可能性がある。トラップカメラの設置場所選定には注意が必要であると考えられた。



写真 18 目視で確認されたホンダヌキ
(2010. 10/20.16:40 分頃)

おわりに

茅ヶ崎市中海岸地区の住宅地域で夜間に活動するハクビシン、タヌキ等の野生動物の生息をカメラトラップ法により確認をする事が出来た。今回はカメラトラップ設置地点が1地点のため、設置地点での野生動物の行動、生息の有無の確認にとどまっている。今後調査地点を増やし地域全体に広げることにより、立地状況や緑地からの距離等の周辺環境と合わせる事によった、この地域内での地点間の比較や、移動、生息密度の調査、記録に広げる事が出来ると考えられる。

引用文献

- 藤吉敬子・宇山 智・井上和宏・浅野嗣三・渋谷香奈子・瀧澤 恵・菅原野花・岩本 順・藤原怜史・黒島祥一・竹村和記・石川康裕・藤吉正明(2007)神奈川県弘法山公園において自動撮影と夜間観察で得られた哺乳類の記録。 神奈川自然誌資料, 28, pp59-65
- 板橋正憲・和田優子・富岡由香里・菊地昭夫(2010)ハクビシンの横浜市内への進出について。 神奈川自然誌資料, 31, pp85-87
- 岸 一弘(1994)茅ヶ崎市及び周辺地域におけるホンダヌキの記録。 文化資料館調査研究報告, 2, pp17-26
- 岸 一弘(2003)茅ヶ崎市におけるタイワンリス、ハクビシン、アライグマの記録。 文化資料館調査研究報告, 11, pp9-15

- 前追ゆり(2010)カメラトラップ法による春日山照葉樹林の哺乳類と鳥類。 大阪産業大学人間環境論集, 9, pp79-96
- 松本文人・浜口哲一(1990)藤沢市で発見されたハクビシンのねぐらについて。 神奈川自然誌資料, 11, pp71-74
- 中村一恵・石原龍雄・坂本堅伍・山口佳秀(1989)神奈川県におけるハクビシンの生息状況と同種の日本における由来について。 神奈川自然誌資料, 10, pp33-41
- 中村一恵(1990)神奈川県におけるハクビシンの生息状況(補遺)。 神奈川自然誌資料, 11, pp75-78
- 中村一恵(1991)神奈川県におけるアライグマの野生化。 神奈川自然誌資料, 12, pp17-19
- 中村一恵・石原龍雄(1992)神奈川県におけるハクビシンの生息状況(補遺 2)。 神奈川自然誌資料, 13, pp1-6
- 園田陽一・倉本宣(2001)神奈川県 of 都市近郊域におけるホンダヌキ *Nyctereutes procyonoides viverrinus* の分布と土地利用の関係について。 明治大学農学部研究報告 128, pp1-11

- 1) 茅ヶ崎市教育委員会社会教育課文化財保護担当
茅ヶ崎市文化資料館
Chigasaki City Museum Of Heritage

E-mail:mayahara3@gmail.com (T. MAYAHARA)